

シンポジウム

謎の遺跡 「払田柵」から探る 秋田の可能性

平成20年12月13日(土) 13:30~16:30
秋田大学教育文化学部 3号館255教室

昭和6年(1931年)に国指定史跡となった払田柵跡。今から約1200年前、肥沃な大地に築かれた巨大な遺跡は多くの謎につつまれています。今回のシンポジウムでは、学問的にも高い関心が寄せられ、県外から多くの観光客が訪れる払田柵の謎を解き明かし、さまざまな角度から秋田のもつ“宝物”の可能性を探ってみます。是非、ご来場ください。

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:30~13:35 | 開会にあたって 秋田大学教育文化学部学部長 池村好道 |
| 13:35~13:45 | 秋田学について 秋田大学教育文化学部 渡部育子 |
| 13:45~14:45 | 基調講演「払田柵はなぜ、この地に造られたのか」
秋田県教育庁払田柵跡調査事務所 主任学芸主事 高橋 学 |
| 14:55~16:30 | パネルディスカッション「古代ロマンの里から探る秋田の可能性」
パネラー
小野一彦(秋田県総務企画部総合政策課)
林信太郎・和泉 浩・篠原秀一(秋田大学教育文化学部)
コーディネータ 渡部育子(秋田大学教育文化学部) |

問い合わせ先/018-889-2615(渡部育子) 参加無料・高校生の参加を歓迎します。

主催：秋田大学教育文化学部「秋田学」の構築に関する研究会
共催：戦略的・大学連携事業 プロジェクト4 A推進本部
後援：秋田県・大仙市